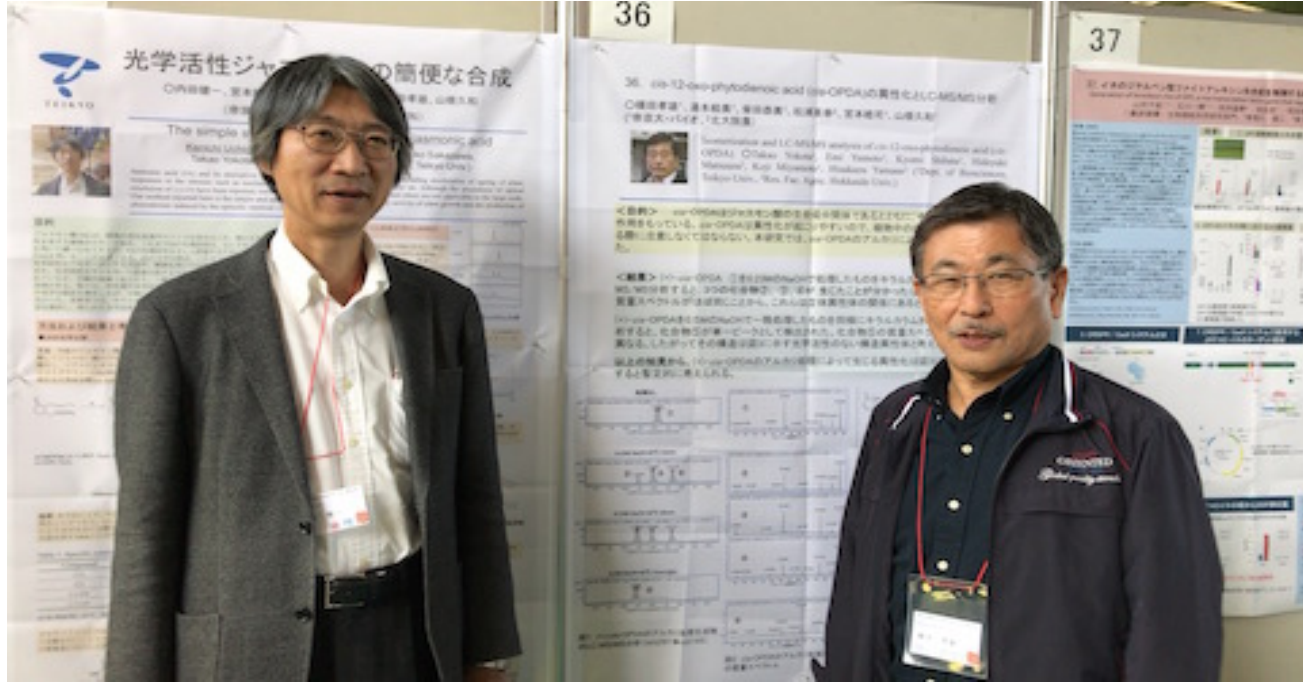


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物化学調節学会 第51回大会（高知大学物部キャンパス）
演題名	cis-12-oxo-phytodienoic acid (cis-OPDA) の異性化と LC-MS/MS 分析
発表者	○ <u>横田孝雄</u> [1]○、 <u>湯本絵美</u> [1]、 <u>柴田恭美</u> [1]、 <u>松浦英幸</u> [2]、 <u>宮本皓司</u> [1]、 <u>山根久和</u> [1] [1]帝京大バイオ、[2]北大院農、○帝京大名誉教授
内容	植物ホルモンの一種ジャスモン酸の生合成中間体であるcis-12-oxo-phytodienoic acid (cis-OPDA) は、ジャスモン酸の生合成中間体であるとともに、それ自体で独自の生理作用をもっている。cis-OPDAは異性化が起こりやすいので、植物中の内生cis-OPDAを分析する際に注意しなくてはならない。本研究では、cis-OPDAのアルカリによる異性化について検討した。本研究は、戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」の支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>ポスター発表の様子</p>